

あさおのぼうけん

小一・なかじま りつ

あるところに、あさおというおとこのこがいました。あさおはさんぽにでかけました。すると、いえのまえにへんなかたちのドアがありました。あさおはそのなかにはいりたくなくなりました。おもいきってはいつてみたら、そこはタクシーのりばでした。タクシーマークはかたつむりなので、かたつむりタクシーなのでしょう。てをあげたら、かたつむりタクシーがとまりました。かたつむりタクシーのなかに、わすれものコーナーがありました。そしてリビングとへやが9しゆるいありました。

「ホテルかも」

あさおはそうおもいました。

「いちばんちかいえきにいつてください」

あさおはおうちにかえりたいので、でんしゃにのろうとおもいました。

かたつむりタクシーのなかに、ねむけさまがはいつてきて、あさおのおなかにのろうとちかづいてきました。

「これはまずい」

ねむけさまにつかまったら、ねむるしかないのです。かたつむりタクシーのうんでんしゅさんはうらやましそうにみえます。でも、あさおはおうちにかえりたいので、ねるわけにいかないのです。わすれものコーナーをみたらきれいなゆびわがありました。

「おかあさんのおみやげにしよう」

と、あさおはおもってとりました。

「はい、ここでおります」

はしつてにげていると、はしがありました。はしのちかくにかんぼんがあつて、

「トイレのはし」

と、かいてありました。

はしをわたったら、かぶとむしととんぼにいました。

「すみません、どこにいくんですか」

と、あさおはききました。

「くさくさカーニバルだよ」

と、むしたちはいったので、あさおはついていくことにしました。くさくさカーニバルにつくと、むしがたくさんあつまつて、くさいものやにおうものをたべていました。

あさおは、チーズあじのおかきとなつとうを、むしたちにもらつてたべました。

「ぼくのおうちしつてますか」

さっきのかぶとむしととんぼにきました。

「しつてるよ、いっしょにいつてあげる」

と、いつてくれました。いっしょにあるいていたら、いえにつきました。

「ありがとうございます」

あさおはいえにもどりました。おかあさんにゆびわをあげました。

「あら、ありがとう。これ、おかあさんがなくしたゆびわだわ」

「そうだったんだ。わすれものコーナーにあつたんだよ」

あさおはじぶんのへやにもどりました。そしたら、ねむけさまが

すがたをあらわしました。

「もうきていいよ」

あさおはそういいました。そしてねむけさまがおなかにつて、

あさおはねむりました。

めでたしめでたし
